今、なぜ、行財政改革か

これまでと今、そしてこれから

「シリーズ行財政改革②」 今回は、これまでの町の取り組みとともに、これからに向けた行財政改革の必 要性についてみていきたいと思います。

2~~

これまで

日の出町は、町制施行後これまでの間に、様々な施策を展開し、時に財政的な危機を乗り越えながら、 今日まで行財政運営を行ってまいりました。

インフラにおいては、下水道整備を進め普及率が100%となっているほか、道路工事大作戦を掲げ、 毎年度、継続的な舗装や側溝の補修を行い、道路の維持に努めております。福祉については、平成3 年「福祉村構想」を発表し、子育て支援・高齢支援・医療費助成など幅広い福祉施策を展開してまい りました。この他、三吉野土地区画整理等による工業団地開発や大型商業施設の誘致、町民参加の各 種イベント、つるつる温泉開設など多角的なまちづくりを進め、今日に至っております。

また、昭和56年と平成5年に廃棄物広域処分場を受け入れ、都のごみ行政にも大きく寄与してお ります。

インフラ・施設 · 下水道整備 ・道路新設改良 · 道路工事大作戦

- ・老人福祉センターの設置・・自治会館の設置・・つるつる温泉センター開設
- ・文化の森造成 ・野鳥の森自然公園整備 ・三吉野土地区画整理(工業団地開発)
- ・三吉野桜木土地区画整理(宅地開発、大型商業施設誘致) など

生活・福祉 ・次世代育成クーポン ・子ども医療費助成 · 青少年育成支援金

- ・青少年医療費助成 ・高齢者医療費助成 ・がん医療費助成
- ・元気で健康に長生き医療費助成・・元気に長生き奨励金・・寝たきり高齢者支援
- ・外出支援バス運行 ・コミュニティバス運行
- 各種イベント(桜まつり、産業まつり、夏まつり、元旦マラソン、スポーツフェスティバル等)など

今

日の出町と類似団体との予算使途比較

日の出町では、インフラの整備後、特に福祉の 充実に力を入れ、優先的に資源を配分してまいり

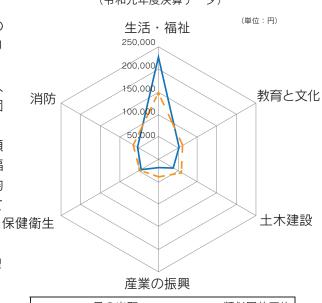
右のグラフは令和元年度決算における住民一人 当たりの支出額を、行政目的別に集計し、類似団 体(※)と比較したものです。

日の出町は土木建設や産業の振興などの支出額 がやや低い傾向にありますが、一方で、生活・福 祉における支出額が突出しており、類似団体平均 と比較して一人当たり8万円以上の支出となって いることがわかります。

(※) 人口と産業構造の組み合わせによって自治体を類型 化し、比較対象としたもの

住民一人当たりの支出額比較

(令和元年度決算データ)



日の出町 ---- 類似団体平均